

【2009 年度キャンドルホルダーについて】

■「100 万人のキャンドルナイト」趣旨と、支える企業「キャンドルホルダー」を募る理由について—

「100 万人のキャンドルナイト」は、危機的状況にある人類の未来、文化、文明の、すこやかな存続を願う環境 NGO の呼びかけにより、自発性と多様性の環境文化運動として、2003 年 6 月 22 日に始まりました。以来、誰でも参加できる、最も排他的ではない運動として、「参加するひとりひとりが主催者」という精神のもと、700 万人を超える人が参加、08 年は夏のイベント登録も 941 件、海外 7 カ国（ニュースレター購読者は、2008 年 10 月現在 74 の国と地域になります。）と、世界への広がりも見せました。運営資金は、みなさまからのご寄付と、2 年目から「地球環境基金」の助成も受けました。けれど地球環境基金は「新たな環境への取り組みを増やす」助成金です。年々増える全国各地と海外からの問い合わせ、ウェブサイトの更新や取材、ポスターやハガキを作るためのメインビジュアルの制作など、期待される事務局の責任を果たしつつ、助成金のかわりとなる新たな資金調達の方策も考えなければなりません。事務局の運営ロスは見直す余地がないほど元々少なく、取り組むべき課題は、まだまだ山積しています。

私たちは今が肝心だと思っています。未来への希望と勇気、人類の一体感を大事にする「100 万人のキャンドルナイト」の精神が、横道に逸れたり、薄まったりすることなく、世界中の人たちへ、未来の子どもたちへ、きちんと届きますよう「100 万人のキャンドルナイト」を支える企業「キャンドルホルダー」になっていただけませんかでしょうか。どうぞよろしく願い申し上げます。

■「100 万人のキャンドルナイト」代表幹事

辻信一 明治学院大学教授、NGO ナマケモノ倶楽部世話人

藤田和芳 大地を守る会会長

マエキタミヤコ NPO サステナ/コピーライター

竹村真一 京都造形芸術大学教授

枝廣淳子 ジャパン・フォー・サステナビリティ共同代表

■「100 万人のキャンドルナイト」を支える企業

「キャンドルホルダー」になるには-----

「100 万人のキャンドルナイト」の趣旨にご賛同ください。

「100 万人のキャンドルナイト」にご参加ください。まわりに呼びかけてください。

「100 万人のキャンドルナイト」事務局が 2009 年 1 年間活動していくための

活動費をご負担ください(一口 10 万円で何口でも)。

* 組合・工業会など複数企業から成り立つ組織でのお申込の場合、

3 口からのご検討をお願い致します。

* 「キャンドルホルダー」は一般企業・団体向けです。宗教・政治団体の参加はご遠慮いただいております。

■キャンドルホルダーの期間について

キャンドルホルダーは 1 年毎に更新しています。ご支援いただきました賛同金は、2009 年 4 月～2010 年 3 月までの運営資金とさせていただきます。

※2009 年度のお申込期間は 2009 年 1 月から 12 月の1年間です。

※ウェブサイトでのご紹介は 2009 年度ウェブサイトが完成してからになります。(2009 年 3 月末予定)

■「キャンドルホルダー」になると、

こんないいことが-----

「100 万人のキャンドルナイト」には、700 万人もの、参加する人、事務局が発信するウェブ情報をたよりにイベントを開催する人がいます。ウェブのアクセス数も夏至、冬至付近は連日約 1 万人を超えます。NGO の呼びかけから始まった、日本最大規模の環境運動「100 万人のキャンドルナイト」のキャンドルホルダーであるということは、民主主義、市民社会、環境、文化に理解を示す企業である、という意味になり、8 割近くといわれる、環境コンシャスな人たち、意識の高い市民・消費者の好感度アップに繋がります。

【キャンドルホルダーロゴが使用できます】

・「100 万人のキャンドルナイト」の正式なキャンドルホルダーであることが告知できる、キャンドルホルダーロゴが広告・広報にお使いいただけます。これはキャンドルホルダーのみの特典です。キャンドルナイト告知、自社企業広告などにお使いください。(データでお送りします。商品パッケージ・POP など直接の商品販促にはお使いいただけません)。

【キャンドルポスターでの告知】

・100 万人のキャンドルナイトのポスターに企業名を記載いたします。

* 制作の関係上 4 月末日まで(予定)のお申込企業に限らせていただきます。

【キャンドルサイト上と記者会見での告知】

・ウェブサイト上の「100 万人のキャンドルナイト・キャンドルホルダーページ」で、感謝の気持ちを込めて、告知させていただきます。

・記者会見(検討中)で「2009年・100万人のキャンドルナイト・キャンドルホルダー」として紹介させていただきます。

【キャンドルホルダーミーティング】

世界や国内の様々な方面の環境事情に詳しい「100万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表幹事たちによる特別懇親会に優先的にご招待させていただきます。

■キャンドルホルダーになったらそのあとは-----

1年毎にご検討いただけますが、ぜひ3年、5年と長い目で見たご支援をご検討ください。

■100万人のキャンドルナイトのホームページ

<http://www.candle-night.org/>

2008年度キャンドルホルダーとなつてくださっている企業さまです。

株式会社ケイブ、日本マザーズ・デイ委員会、日本 SGI 株式会社、株式会社 すかいらーく、株式会社 ノルコーポレーション、太陽光発電システム「見積工場」、G+M CORPORATION、Ameba(アメブロ)、セイコーエプソン 株式会社、株式会社 ディグニティ、八都県市、株式会社 デンソー、積水ハウス 株式会社、三菱地所 株式会社、株式会社 ランダムハウス講談社、太陽生命保険 株式会社、らでいっしゅぼーや 株式会社、三井物産 株式会社、ゆめ画材、カフェ・カンパニー 株式会社、株式会社 日本エコシステム、丸紅 株式会社、トステム 株式会社、株式会社 ゼネシス、北の住まい設計社、株式会社 アズ、100万人のキャンドルナイト@OSAKA CITY、三井住友海上スマイルハートクラブ、富士ゼロックス 株式会社、松山油脂 株式会社、カメヤマ 株式会社、大地を守る会、チェッカーサポート、TBSラジオ、株式会社 アレフ、株式会社 全通、パルシステム生活協同組合、東洋エクステリア、ザ・バートン・コーポレーション株式会社、株式会社ヴェレダ・ジャパン、自然食糧品店グループ、株式会社スノーピーク、株式会社素敬、株式会社オフィスパーク、株式会社YFS(全45社)

キャンドルホルダーへのお問い合わせは-----

・「100万人のキャンドルナイト」事務局(大地を守る会内)まで。

Tel:03-3402-8877 平日9時~18時、Fax:03-3402-5590、

E-mail: webmaster@candle-night.org

でんきを消して、スローな夜を。「100万人のキャンドルナイト」

【キャンドルホルダー2009】申込書

社名: _____
住所: 〒 _____
担当部署名: _____
担当者名: _____
Tel: _____ Fax: _____
E-mail: _____

下記にて、「キャンドルホルダー2009」に申込み致します。

期間: 2009年4月1日～2010年3月31日

申込口数(1口=10万円): _____ 口 / _____ 万円

■お振込み先

三菱東京UFJ銀行 六本木支店 普通口座

番号: 1489173

名称: 100万人のキャンドルナイト 代表 前川隆文(ヒヤクマンニンノキャンドルナイト マエカワタカフミ)

◇公式ホームページにて公開を希望する情報

社名: _____
URL: http: _____

.....

* 上記必要事項を全てご記入の上、社印を押して頂き、お手数をお掛け致しますが、

郵便にて下記までお送りいただきますよう、よろしくお願い致します。

* 本申込書をお送りいただき、こちらでご入金を確認の後、ロゴの引渡しとホームページ上での貴社名公開作業に入ります。

送り先: 100万人のキャンドルナイト事務局(大地を守る会内)

〒106-0032 港区六本木6-8-15 第2五月ビル2階